

# kanagawa ARTS PRESS

神奈川芸術プレス Vol.135

4|5  
2017



CREATOR'S VOICE 154  
北澤裕輔  
劇団四季ミュージカル「オペラ座の怪人」

撮影:末武和人

劇場・音楽堂の「ちがう顔」に会う日  
真の観光資源は—カジノ? 豊かなコミュニティ? 山本理顕の「街は舞台だ」

隔月刊:奇数月15日発行

「人生は生きるに値する」  
そんなメッセージを伝える作品を  
劇団四季では上演し続けています。

# 劇団四季 ミュージカル「オペラ座の怪人」

KAAT神奈川芸術劇場

## 北澤裕輔

劇団四季「オペラ座の怪人」  
演出スーパーバイザー



1986年の世界初演以来、35か国で上演され、累計観客動員数1億4000万人を誇るミュージカル「オペラ座の怪人」。2004年の映画版も好評を博しました。日本では劇団四季が1988年から上演、総入場者数665万人を超える人気作品です。本年3月からのKAAT神奈川芸術劇場〈ホール〉での上演にあたり、今回演出スーパーバイザーを務める北澤裕輔さんに、見どころについておうかがいしました。

——作品との出会いについてお聞かせ願えますか。

親が舞台好きで、小学生のころからファミリーミュージカルをよく観ていました。楽しいけれども自分が目指す世界とはちょっと違うと思っていたんです。それが、音大生のとき、劇団四季の「オ

ペラ座の怪人」を観に行つて、「こんなにクラシック音楽寄りのミュージカルもあるんだ、これはやってみたいな」とすっかり考えが変わりました。クラシックの分野でやっていこうと思っていた僕にとって、劇団四季に入団するきっかけともなった作品ですね。

### 歌の表現を超えたミュージカル

——入団後、この作品のアンサンブルとして初舞台を踏み、その後ラウル子爵役を演じられました。実際に出演してみていかがでしたか。

「観る天国、やる地獄」ですね。思った以上に体力勝負(笑)。クラシックですと、まずは譜面と向き合いますが、ミュージカルとなると、身体と声との連動、身体表現が重要で、まさにお芝居なんだなと。歌にしても、音をきちんと出すとか声の



北澤裕輔 Yusuke Kitazawa

国立音楽大学声楽学科卒業。二期会オペラスタジオを経て、1998年四季劇場開場記念オーディション合格。「オペラ座の怪人」で初舞台を踏み、のちにラウル、アンドレ、「ライオンキング」シンバ、「ジーザス・クライスト=スーパースター」ペテロ、ヘロデ王、「夢から醒めた夢」配達人、「李香蘭」、「異国の丘」、「ウィキッド」フィエロ、「キャッツ」スキンプルジャンクス、「美女と野獣」ビースト等を演じる。2015年より、「オペラ座の怪人」の演出スーパーバイザーを務める。



色をきれいにするとかそういったことを超えて、つぶした声も必要に応じて使うなど、セリフの延長として言葉を発する、発想と発声とを徹底して連動させるというのを、先生方や先輩方に叩き込まれましたね。

初舞台はとにかく必死でしたから、「あの『オペラ座の怪人』に出られた!」という感動は正直なかったですね(笑)。それから、一回一回常に高みを目指し続けてきました。様々な作品に出演するようになり、全体を俯瞰できるようになって、「オペラ座の怪人」の深みもまた見えてきたという感じです。

### 名作オペラへのオマージュも

——クラシック畑育ちの北澤さんの心を最初の観劇からぐっととらえた、この作品の魅力とは?

アンドリュウ・ロイド・ウェバー作曲のすばらしい音楽をはじめとする芸術性の高さですね。豪華絢爛な舞台装置や衣裳、照明に俳優たちが加わったコラボレーションもまた格別です。その核となっているのが、怪人IIファントムの悲哀を描く人間ドラマ。そこが、長年上演されてきてますます古びず色褪せない

魅力ではないかと思えます。

作品の前半からして、ヴェルディのオペラを思わせるんです。劇中劇の中にも、モーツァルトの「フィガロの結婚」の筋だ! とすぐにわかるものもありますし、入れ替わりの場面などはもう「ドン・ジョヴァンニ」で、それが物語本編にも絡んでくる。もともと僕は、モーツァルトやヴェルディ、プッチーニ、それにワーグナーといった作曲家のオペラが大好きなんです。そういったオペラがモチーフとなっているシーンが随所に出てきて、思わずニヤツとしてしまっ感じなんです。クラシック音楽の素養がある方だとますます深くお楽しみいただけるのではないかと思えます。好きなナンバーばかりですが、オペラ好きからこの作品にはまった僕が一つお気に入りをお勧めしたら、「プリマ・ドンナ」という七重唱でしょうか。

——演出スーパードバイザーとして果たされている役割と、そのお立場からの公演に向けての抱負をお聞かせ願えますか。

これまでの演出を守り、作品が摩耗しないようクオリティを保っていくことが演出スーパードバイザーの役割ですね。今回の横浜公演に向け100人近くの劇団



## 劇団四季 ミュージカル「オペラ座の怪人」横浜公演

2017年3月25日(土)~8月13日(日) KAAT 神奈川芸術劇場(ホール)

作曲:アンドリュー・ロイド=ウェバー 作詞:チャールズ・ハート 追補詞:リチャード・スティルゴー

台本:リチャード・スティルゴー/アンドリュー・ロイド=ウェバー

演出:ハロルド・プリンス 振付:ジリアン・リン

美術:マリア・ビョルンソン 照明:アンドリュー・ブリッジ 音響:マーチン・レーバン

音楽監督:デイヴィッド・カディック オーケストレーション:デイヴィッド・カレン/アンドリュー・ロイド=ウェバー

日本語台本:浅利慶太 翻訳:安東伸介

オリジナル企画=浅利慶太

出演:劇団四季

全席指定 S 10800円 サイドS 10800円 A 8640円 サイドA 8640円 B 6480円 サイドB 6480円 C 3240円 サイドイス付立見3240円

劇団四季 東京オフィス 03-5776-6730 (9:30~18:00)

公式サイト www.shiki.jp/theatres/yokohama/ (詳細日程はP15のホールニュース参照)

員がオーディションを受けました。その中から選ばれた新しいキャストにも、作品の魂を伝授し、共にクオリティの高い舞台を製作していきたいと思えます。

## メッセージをきちんと描く作品を

——幅広い観客層で楽しむことのできる作品ですが、ミュージカルというジャンルにまだなじんでいない方に、その魅力をアピールするとはたらきでしょうか？

歌がドラマとして前面に押し出されていく、語りの延長として存在する、その魅力でしょうか。そういった感情表現に魂を揺さぶられるということなんだと思います。

また最近のミュージカル作品では要求される音域が広がっていますが、その中においても、30年以上前に書かれた「オペラ座の怪人」は、難しいナンバーが多い、音楽的レベルの高い作品であるという点ではないでしょうか。

——ミュージカル流行りの昨今、各地の劇場でミュージカル作品が上演されていますが、その中でも劇団四季の上演作品の強みとは？

作品選びにあたって、ただおもしろい

というだけではなく、作品にきちんとメッセージがあるのかを考えます。それは、作品が「人生は生きるに値する」「人生は素晴らしい」といったメッセージを持っているかどうか。また、「オペラ座の怪人」の場合には、台本の感動のみならず、音楽やバレエ、舞台美術など総合的な芸術性の高さが強みと言えらると思います。

私にとつてのKAAT神奈川芸術劇場  
my theater myself  
横浜は大好きでよく買い物に行きます。神奈川県民ホールで初めて観劇したオペラ「リゴレット」は忘れがたいですね。KAAT神奈川芸術劇場は舞台を包み込むような真紅の客席が、パリ・オペラ座の雰囲気も感じさせるので、作品のシチュエーションにも合い、その部分のリアルさがより増しそうです。  
豪華な舞台装置が劇場にどう映えるか、僕自身楽しみます。

究極的には愛を描いていると思うんですね。クリステイヌという歌姫をめぐって、パリ・オペラ座の地下に棲む怪人と、クリステイヌの幼なじみであるラウル子爵が対立する。ラウル子爵はパーフェクトとされる人間ですが、その彼も彼女の愛を得られるかどうか。その一方には、外見的には醜いとされる怪人がいて、心、愛をもって接することによって、愛を返されるかもしれない。人間誰しもコンプレックスというものを持っていて、それぞれの人間の悲哀が描かれている、それがこの作品の魅力ですよ。

WEB  
+α!

WEBでも「プレス」が読める!  
www.artspress.jp

WEB版だけのプラスα  
コンテンツもいっぱい!  
動画やインタビュー続編は…

このマークを  
チェック!



取材・文:藤本真由(舞台評論家)  
撮影:末武和人



上:長沢明〈Mother〉 下:〈Mother〉部分



Photo:東郷 洋

右上:「くるみ割り人形」の世界を創るキャラクターたち  
 右下:「くるみ割り人形」名回の主演ペア  
 左から刑部星矢、熊野文香(11:00) 小林麻彩、埴田慎太郎(14:30)  
 上下とも©エー・アイ



# 劇場・音楽堂の「ちがう顔」に出会えるチャンス オープンシアター2017

KAAT神奈川芸術劇場

神奈川県民ホール

神奈川県立音楽堂

いつもと違う魅力にあふれた「劇場」や「音楽堂」で一日遊べるとしたら、どう過ごしますか? 年に一度の「オープンシアター」はそんな機会。子どもも大人も気軽に芸術に出会える日として、今年も神奈川県民ホール、KAAT神奈川芸術劇場、神奈川県立音楽堂の三つの館が個性を競い多彩な企画を繰り広げます。三館とも横浜主要観光スポットが至近の上バスや徒歩で移動できる近さ。気になる館と周辺ロケーションで半日ゆっくり遊んでもOK、開港祭にわく初夏の横浜を、散歩気分でも三館巡ってもOKです。

大小ホールの舞台を軸に展開するのは神奈川県民ホール。年間数々のバレエ公演を行う大ホールでは、チャイコフスキーの音楽にのせて贈る華麗なバレエファンタジー、松山バレエ団による「くるみ割り人形」神奈川県民ホール版スペシャルハイライトを、3歳から入場できるので、劇場デビューとしてもぴったりです。オーケストラの生演奏付きで、世界中で愛される夢いっぱいの名作バレエの魅力はそのままだに、子どもから大人まで楽しく鑑賞できるよっ見どころを凝縮した舞台。各回のオープニングは、日本が誇るプリマバレリーナ、森下洋子がバレエの世界にいざなうスペシャルトークを。その他、

開演前のオーケストラピット見学やバレエ名場面写真展、バレエワークショップ。2回目終演後には出演者との交流タイム(当日申込)も開催予定。終日お祭り気分でお楽しみいただけます。公共ホールでは国内で最初に設置されたドイツ製オルガンがある小ホールでは、オルガン音楽の魅力に触れるお話コンサートをお届け。終演後にはステージ上で間近にオルガンをご覧いただけます。(詳細はP11)

そもそも劇場は無限の空間を持つ黒い箱ブラックボックス。そこで白い壁に囲まれたホワイトキューブ美術館にあるような絵画や彫刻と出会ったらどうなるか? そんなテーマで新しい挑戦を続けてきたKAAT神奈川芸術劇場が開催するKAAT EXHIBITION 2017。中スタジオの機能を活かしながら、平面や彫刻作品を展示する「詩情の森 語りかたられる空間」では、東北を拠点に活躍する作家を中心に紹介。日本画の技法を使った屏風などの個性的な表現は注目です。学芸員によるギャラリートークのほか、ダンサーなど新進アーティストが作品からインスパイアされる形で、それぞれのパフォーマンス表現で作品を「語る」、劇場ならではのユニークな「トーク」もお楽しみに。そして



## オープンシアター 2017

### 神奈川県民ホール 「オープンシアター 2017」

●松山バレエ団「くるみ割り人形」神奈川県民ホール版スペシャルハイライト  
2017年5月28日(日) ①11:00 ②14:30 (大ホール)

休憩なし90分(森下洋子とバレリーナたちによるオープニングトーク・手話通訳つき)

構想・構成・台本・演出・振付:清水哲太郎

出演:松山バレエ団 ①熊野文香 刑部星矢 ②小林麻彩 埴田慎太郎

指揮:河合尚市 演奏:神奈川フィルハーモニー管弦楽団

全席指定 一般(高校生以上)2000円 子ども(3歳~中学生)1000円

親子(子ども1枚+一般1枚)2500円 ※3歳から入場可

### ●ワンコイン・オルガンコンサート

2017年5月28日(日) ①11:00 ②14:30 (小ホール)(詳細はP11参照)

◎その他多彩なイベントを開催

### KAAT神奈川芸術劇場 「KAAT EXHIBITION 2017」

2017年4月30日(日)~5月28日(日)

#### ●「詩情の森 語りかたられる空間」

4月30日(日)~5月28日(日) (中スタジオ)

出品作家:三瀬夏之介 長沢明 金子富之 田中望 藤堂 角文平

一般600円 大学生500円 高校生以下無料

#### ●オープンシアター & イベント/現代美術展示

5月28日(日) (アトリウム)

出品作家:宮永亮 石塚源太 飯川雄大 小林耕治郎 藤堂

#### ●トーク&パフォーマンスなどのイベント

5月28日(日) (大スタジオ)

★周辺お出かけスポット:山下公園、象の鼻パーク、赤レンガ倉庫、中華街、元町、山手、etc.

### 神奈川県立音楽堂 「音楽堂で音・体験♪建築・探検!」

2017年5月27日(土) 10:30

出演:松田理奈(ヴァイオリン) 松隈洋(京都工芸繊維大学教授、建築史家) 他

全席自由 一般500円 0歳児から小学生無料(当日受付入場/バスで出入り自由)

★周辺お出かけスポット:掃部山公園、野毛山公園、野毛、みなとみらい、etc.

\*最新情報・詳細は各館HPをご覧ください。



藤堂



松田理奈(ヴァイオリン)

©Shigeito Imura



最終日には、誰でも無料で出入りできる吹き抜け空間のアトリウムに映像作品のプロジェクト、インスタレーションなどが出現します。美術館でもありえない巨大なスクリーンに映し出される映像は迫力満点です。

日本モダンニズム建築の巨匠、前川國男による日本初の公共音楽専用ホールとして、60年以上にわたり、その響きを愛されてきた神奈川県立音楽堂では、「音楽堂で音・体験♪建築・探検!」と題し、建築の魅力を探るスタンブラリーや注目の若手ヴァイオリニスト・松田理奈によるミニ・コンサートなど、いつもと違う音楽堂に出会える一日を企画。ホワイエでは、神奈川県福祉事業所による飲み物やお菓子の販売もあり。0歳から入場可

### 〈参加者募集〉

## 音楽堂 第1回 避難訓練コンサート

神奈川県立音楽堂



コンサート開催中に地震や火災等が発生したら……。横浜市消防音楽隊による演奏会の途中で避難訓練を行います。災害時の対処方法を体験し防災や安全について考える機会に。皆さまのご参加をお待ちします。

2017年6月22日(木) 11:00 (開場10:30/終演13:00)

小学生以上300名様無料招待

(往復はがき事前申込み/応募多数の場合抽選)

①住所②氏名③電話番号④年齢

⑤希望人数(2名まで)を記入の上

〒220-0044 横浜市西区紅葉ヶ丘9-2

神奈川県立音楽堂

「避難訓練コンサート」係へ (5/10必着)



2016年の様子 音楽堂のオケケが見られるレアな機会

©青柳聡

音楽堂ヴィルトゥオーゾ・シリーズ19  
ナタリー・シュトゥッツマン コントラルト・リサイタル

特別編成の室内楽伴奏による「シューベルト歌曲プログラム」  
—イングヴァル・カルコフ編—

2017年5月13日(土) 15:00 神奈川県立音楽堂

出演:ナタリー・シュトゥッツマン(コントラルト)  
インゲル・ゼーデルグレン(ピアノ)  
四方恭子(第1ヴァイオリン) 瀧村依里(第2ヴァイオリン)  
鈴木 学(ヴィオラ) 大友 肇(チェロ)

シューベルト(イングヴァル・カルコフ編):

シルヴィアに D891、あこがれ D879、セレナーデ(「白鳥の歌」 D957 第4曲)、  
ガニュメデス D544、漁夫の娘(「白鳥の歌」 D957 第10曲)、君こそわが戀い D776、  
ピアノ三重奏曲第1番 D898より 第3楽章(器楽のみ)、  
戀いない愛 D138、音楽に寄す D547、若い尼僧 D828、  
愛の便り(「白鳥の歌」 D957 第1曲)、さすらい人 D489、  
リュートに寄せて D905、万霊節の日のための連誦 D343、  
笑いと涙 D777、

弦楽四重奏曲第13番 D804「ロザムンデ」より  
第2楽章(器楽のみ)、

タルタロスから来た群れ D583、  
死と乙女 D531、春に D882、  
ミュージズの子 D764

全席指定 一般6000円  
シルバー(65歳以上)5500円  
学生(24歳以下)3000円



インゲル・ゼーデルグレン



瀧村依里



四方恭子



大友 肇



鈴木 学



ナタリー・シュトゥッツマン

©Simon Fowler



コントラルト。女声の最低音域を担当するパートのことをイタリア語でcontraltoと呼びます。ナタリー・シュトゥッツマンはその第一人者であり、現代最高の歌手のひとりです。その圧倒的な存在感と深みのある美しい歌声は、前回2014年の神奈川県立音楽堂でのリサイタルでも多くの人々を魅了しました。

今回は、シュトゥッツマンがお気に入りのシューベルトの歌曲18曲を集めた

音楽堂ヴィルトゥオーゾ・シリーズ19  
ナタリー・シュトゥッツマン  
コントラルト・リサイタル

特別編成の室内楽伴奏による「シューベルト歌曲プログラム」  
—イングヴァル・カルコフ編—

神奈川県立音楽堂

シューベルト珠玉の歌曲群を、  
特別編成の室内楽伴奏で聴く

リサイタルを開催します。「愛や死……シューベルトには人生のすべてがある」と語るシュトゥッツマンが選んだ珠玉の歌曲群。通常、シューベルトの歌曲はピアノ伴奏で歌われますが、このリサイタルのための特別な編曲で、18曲中14曲は弦楽四重奏やピアノ五重奏との共演で歌われます。さらに、2曲の器楽のみの作品を加えて、バリエーション溢れる凝った構成になっています。

シュトゥッツマンはこの特別編成によるプログラムを「長い夢であった」と話しています。声だけ、ピアノだけ、もちろん弦楽四重奏だけではなく、それぞれを組み合わせることで見えてくるシューベルトの世界——深く柔らかな歌声と、20年以上共演しているピアニスト、インゲル・ゼーデルグレンとの息の合ったかけあい、そして、今回のために特別に編成された弦楽四重奏との共演で、シュトゥッツマンのお気に入りの曲たちの新たな響きを堪能してください。

「神奈川県立音楽堂はとても美しい場所」とインタビュで語ったシュトゥッツマン。木のホールにあたたかで親密な空間で、シュトゥッツマンも誰も体験したことのない特別な世界に浸ってみてはいかがでしょうか。



コンサート&ディスカッション 2017年6月11日(日) 15:00 〈小ホール〉  
 出演:ユリシース弦楽四重奏団 曲目:スターク:ウィンター・ミュージック  
 パーバー:弦楽四重奏曲 Op.11より 第2楽章、ライヒ:ディファレント・トレインズ  
 全席指定1000円



## 一柳慧プロデュース ユリシース弦楽四重奏団

神奈川県民ホール

リサイタル 2017年6月17日(土) 14:00 〈小ホール〉

出演:ユリシース弦楽四重奏団

大山平一郎(ヴィオラ) 飯野明日香(ピアノ)

曲目:スターク:ウィンター・ミュージック

ベートーヴェン:弦楽五重奏曲 Op.29

一柳慧:弦楽四重奏曲第2番「インタースペース」より 第3楽章

ショスタコーヴィチ:ピアノ五重奏曲ト短調 Op.57

全席指定 一般3000円 学生(24歳以下)2000円 2公演セット券3500円



左から ライオン・バーナート、クリスティーナ・ブレイ(ヴァイオリン)、コリン・ブルックス(ヴィオラ)、クレイス・ホー(チェロ)

時代の最先端を発信するニューヨークから、今最も注目を集める若手弦楽四重奏団が初来日。作曲家・一柳慧のプロデュースのもと、二つの意欲的なプログラムをお届けします。ユリシース弦楽四重奏団は昨年、米ワイシヨフ室内楽コンクールでグランプリと金メダルを同時受賞した気鋭のユニットで、一柳をはじめとした同時代の音楽家やニューヨークの聴衆から熱い視線を浴びています。

待望の初来日となる今回、コンサートとディスカッションを組み合わせた交流プログラムと、一柳が絶大な信頼を寄せる二人の日本人アーティストをゲストに迎えてのリサイタルを2週にわたって開催します。ニューヨークの現在を感じさせる二つの熱いプログラムにご期待ください。

2017年7月2日(日) 14:00

出演:ハーゲン・クアルテット

曲目:ショスタコーヴィチ:弦楽四重奏曲第3番 へ長調、ベートーヴェン:弦楽四重奏曲第16番 へ長調

シュペルト:弦楽四重奏曲第14番 二短調 D810「死と乙女」

全席指定 一般6000円 シルバー(65歳以上)5500円 学生(24歳以下)3000円

## 音楽堂ヴィルトゥオーゾ・シリーズ21 ハーゲン・クアルテット

神奈川県立音楽堂



ルーカス・ハーゲン、ライナー・シュミット(ヴァイオリン)  
 ヴェロニカ・ハーゲン(ヴィオラ)  
 クレメンス・ハーゲン(チェロ) ©Harald Hoffmann

名実共に世界のトップレベルで活動するアーティストを招いて開催するヴィルトゥオーゾ・シリーズ。7月にはザルツブルクから弦楽四重奏団の最高峰ハーゲン・クアルテットが登場し、彼らのレパートリーの中でも定評のあるショスタコーヴィチ、ベートーヴェン、シュペルトの作品から、選りすぐりの名曲を演奏します。ハーゲン・クアルテットは幼少の頃から共に音楽を学んだルーカス、アンゲリカ、ヴェロニカ、クレメンスの4人兄弟によって1981年に結成されました。現在は、第2ヴァイオリンのアンゲリカがソロ活動に専念するためにシュミットに交代しましたが、全員がザルツブルク・モーツァルテウム・アカデミーで学んでおり、音楽的なまとまりは他の追従を許しません。緻密かつ大胆な演奏は常に高く評価されています。室内楽に最適な空間をもつ音楽堂で、ぜひ彼らの演奏をお楽しみください。

2017年5月30日(火)・6月22日(木)

各日19:00 〈小ホール〉

全自由席 1000円 高校生以下無料

フェリス女学院大学演奏委員会室

045-681-5189 (平日10:00~17:00)

## フェリス・音楽の花束

神奈川県民ホール



## 神奈川フィルハーモニー管弦楽団 モーツァルト・ディスカバリー vol.2

神奈川県民ホール

に。予定。お楽しみ「浄夜」が登場のシエーンベルクめます。今年はお多様なプログラムを楽しめる。今年はお多様なプログラムを楽しめる。今年はお多様なプログラムを楽しめる。



2016年の演奏会から

山下町の神奈川県民ホールから徒歩15分の手前の丘にあるフェリス女学院大学。その音楽学部によるコンサートが「フェリス・音楽の花束」です。毎年、演奏学科・音楽芸術学科それぞれが企画に工夫を凝らし、第一線の演奏家でもある先生方の演奏で文字どおり「花束」のような多彩なプログラムを楽しめます。今年はお多様なプログラムを楽しめる。今年はお多様なプログラムを楽しめる。今年はお多様なプログラムを楽しめる。



久元祐子  
©K.Sakayori



伊藤 翔  
©K.Miura

2017年6月27日(火) 15:00 〈小ホール〉  
 伊藤 翔(指揮・お話) 久元祐子(ピアノ・お話)  
 演奏を交えたトークによるモーツァルトのレクチャー  
 モーツァルト:交響曲第33番 変ロ長調 K319  
 ピアノ協奏曲第9番 変ホ長調 K271「ジュノーム」  
 全席指定3000円  
 神奈川フィル・チケットサービス  
 045-226-5107 (平日10:00~18:00)

神奈川フィルハーモニー管弦楽団による特別演奏会「モーツァルト・ディスカバリー」シリーズ第2弾。モーツァルトの名手で、国際的なモーツァルト研究者でもある久元祐子を迎えて贈る、天才モーツァルトの魅力を巡るレクチャーつきコンサート。



# ファンタスティック・ガラコンサート2017 in summer

神奈川県民ホール



2017年7月2日(日) 15:00 (大ホール)

ウィリアムズ:オリンピック・ファンファーレとテーマ  
チャイコフスキー:ピアノ協奏曲第1番より第1楽章  
シュトラウスII世:『こうもり』より「侯爵様、あなたのようなお方は」  
ロッシーニ:『セビリアの理髪師』より「空はほほえみ」  
レイ:『ラ・マンチャの男』より「見果てぬ夢」  
ドビュッシー:交響詩「海」より 第3楽章「風と海の対話」 他  
出演:松尾葉子(指揮) 宮本益光(司会・バリトン) 市原愛(ソプラノ) 錦織 健(テノール)  
石田泰尚(ヴァイオリン) 外山啓介(ピアノ) 鈴木美良乃(フルート)  
神奈川フィルハーモニー管弦楽団 他 児童合唱

全席指定 S 7000円 Sペア13000円 A 5000円  
B 4000円 C 3000円 学生(24歳以下) 2000円



錦織 健

◎大八木宏武(都恋堂)



市原 愛



宮本益光



松尾葉子



鈴木美良乃



外山啓介

◎Yuji Hori



石田泰尚

◎井村重人

豪華アーティストが贅沢なひとときをお届けする「ファンタスティック・ガラコンサート」。年末恒例の人気公演が、今年は夏に登場します！おなじみの松尾葉子指揮神奈川フィルが演奏するのは、夏にちなんだ「海」やジョン・ウィリアムズの「オリンピック・ファンファーレ」(1984年ロス五輪)をはじめとした管弦楽曲。初登場で神奈川出身のソプラノ・市原愛は、ドイツでも絶賛された「こうもり」のアデーレを歌います。テノール・錦織健は、「セビリアの理髪師」の名旋律をギターの弾き語りで披



2015年12月のガラコンサートより 神奈川フィルと外山啓介(ピアノ)

◎Kiyokori Hasegawa

露。司会を務めるバリトン・宮本益光は、2009年の本公演でも絶賛を博したミュージカル「ラ・マンチャの男」の主題歌を再演。二度目の登場となる人気ピアノリスト・外山啓介は、チャイコフスキーの名曲「ピアノ・コンチェルト」を。毎回、新鮮な驚きを届けてくれるヴァイオリン・石田泰尚とのセッションも期待十分です。他にも、将来が期待される新進フルート奏者・鈴木美良乃を迎え、多彩なジャンルの名曲をお贈りします。夏を彩る極上のガラコンサートにご期待ください！

## 舞台芸術講座 特別編 GWキッズ・プログラム 加藤昌則先生とたのしむ 音楽たいけんワンダーランド

神奈川県民ホール



2017年①5月3日(水祝) 11:00 (小学校1~3年生)  
②5月4日(木祝) 13:00 (小学校4~6年生)

〈小ホール〉

講師:加藤昌則(作曲家・ピアニスト)

小学生対象(定員各20名)参加料500円

申込方法:

- 1) メール... ①参加者全員のお名前と学年(2017年4月現在) ②ご住所 ③連絡先(電話・FAX・メールアドレス) ④申込人数を記入の上、件名に【ワンダーランド申込み】と入れてjigyou1ka@kanagawa-af.orgまでメール送信。
- 2) FAX... 神奈川県民ホールHPから申込書をダウンロード・印刷し、必要事項を記入の上045-641-3184までFAX送信。

※お送りいただいた個人情報ワークショップに関してのみ使用します。

締切:4月23日(日) 必着 ※定員になり次第、早期締切あり。

神奈川県民ホール事業課 045-633-3686



子どもたちに、音楽って楽しい！が伝わる  
ゴールデンウィークをプレゼント！ 横浜  
出身の作曲家・ピアニスト、加藤昌則と一緒に  
楽しむ音楽体験ワークショップ。ことは、  
音、リズムなど小さな断片を組み合わせ、  
みんなでひとつの曲を作ります。さて、ど  
んな曲ができるかな？ 音楽を習っていない  
好奇心いっぱいの子たちこそ参加して  
ほしい！

2017年 神奈川県民ホール(小ホール)

## ●オルガン・プロムナード・コンサート

12:20~12:50 (12:00開場)

Vol.359 4月21日(金) 森武靖子

Vol.360 6月30日(金) 内海恵子

入場無料 全席自由 当日先着順入場

## ●オープンシアター 2017

## ワンコイン・オルガンコンサート

5月28日(日)

①11:00 荻野由美子(オルガン) 江原陽子(歌)

②14:30 荒井牧子(オルガン) 國末貞仁(サクソ)

演奏時間 約45分+オルガン見学 約15分

全席自由 500円(小学生以下無料)

※①0歳から入場可/②小学生以上入場可

※各開演30分前より先着順現金払い

定員になり次第終了(各回400名)

## ●荻野由美子 オルガン・リサイタル

## ～ブラームスの旅～

6月10日(土) 15:00

全席指定 一般3000円 学生(24歳以下)2000円

[関連企画]

舞台芸術講座「ブラームスの旅」プレレクチャー

5月13日(土) 14:00 荻野由美子(お話)

全席指定1000円

6/10リサイタルと5/13講座のお得なセット券3500円

一般発売3/24(金) KAm先行3/18(土)



県民ホール オルガン・アドバイザーの荻野由美子さん

© Y.Yayu

県民ホールでのオルガン

Photo:東郷 洋



同時代ウィーンの実業家、オットー・ペーラーの影絵「天国に入るブラームス」中央のオルガンにバッハ、左下にブラームスのほか、シューマンらの姿が見て取れる

## ドイツ・クライス社のオルガンで聴く 2017年のラインナップ

神奈川県民ホール

バッハからブラームスへ。



神奈川県民ホールのパイプオルガンは日本の公共ホールに初めて設置されたオルガンで、ドイツ・クライス社製の楽器です。小ホールの舞台上にあるため客席からオルガニストの演奏を間近で楽しむことができます。県民ホールでは開館当初から続く無料のプロムナード・コンサートや本格的なリサイタルなど、多彩なオルガンコンサートを開催しています。2017年度のコンサートについては、県民ホールのオルガン・アドバイザー、荻野由美子さんにききました。

— オルガン・プロムナード・コンサートは2016年度に続きバッハのオルガン作品を中心としたプログラムを経験豊かな実力派オルガニストお二人がお贈りします。森武靖子さんは「オルガン小曲集」から、内海恵子さんは「コラールパルティータ」から選曲し演奏します。おなじみのオープンシアターではワンコイン(500円)で気軽にお楽しみいただけるオルガンコンサートを行います。午前は私が歌手の江原陽子さんと、午後は新進のオルガニスト、荒井牧子さんがサクソフォンの國末貞仁さんと共演します。

6月のリサイタルでは「ブラームスの旅」と題して、2017年が没後120年にあたるブラームスの遺作「11のコラール集」全曲を取り上げます。ブラームスはワーグナーに代表される新ドイツ主義最盛の時代にあつて古典主義的な立場を貫き、ドイツの伝統を守り継ごうとした。バッハに深く傾倒し、常に聖書を座右に置いていたブラームスが、心のよりにどこであつたクララ・シューマンを失い、自らも病を得た時期にコラール作品に取り組んだことは自然な流れだったのでしょう。1896年5月、クララの死の直後に作曲されたこのコラール集は、クララの霊に捧げられると同時に自らの死との対峙、旅路の終わりと永遠の命への想いが込められています。この作品を中心に、バッハとバッハの音楽を再興したメンデルスゾーン、メンデルスゾーンの盟友でありブラームスを世に送り出したシューマンの作品も取り上げます。生涯「旅の人」であつたブラームスが追い求めた先人たちをさかのぼる旅は、ドイツ音楽史の1ページを辿る旅でもありません。先人たちが待つ天国へと旅立ったブラームスのオルガン音楽を皆さまにお楽しみいただければ、とっています。リサイタルをさらにお楽しみいただけるよう、5月にはブラームスのオルガン音楽をテーマにした講座も行いますので、ぜひお越しください。



## KAAT×地点 共同制作第7弾 「忘れる日本人」

KAAT神奈川芸術劇場

2017年4月13日(木)～23日(日)〈中スタジオ〉

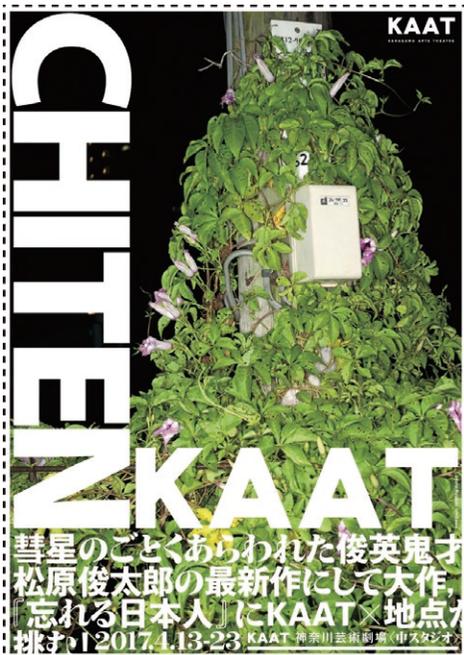
作:松原俊太郎

演出:三浦基

出演:安部聡子 石田大 小河原康二 窪田史恵 河野早紀 小林洋平 田中祐貴

整理番号付自由席

一般3500円 U24 1750円 高校生以下1000円 シルバー(65歳以上)3000円



彗星のごとくあらわれた俊英鬼才  
松原俊太郎の最新作にして大作  
「忘れる日本人」にKAAT×地点が  
挑む! 2017.4.13-23 KAAT 神奈川芸術劇場〈中スタジオ〉

半年間かけて執筆された大作。これまで多様なテキストを用いて、言葉や身体、光・音、時間などさまざまな要素が重層的に関係する演劇独自の表現を追求してきた地点による最新作!

KAATでは、開館当初より地点との共同制作を継続的に行っています。小説の舞台化や「ラージュ」の手法による作劇、一線で活躍する建築家のデザインによる舞台美術など、自由な発想で多くの作品を発表してきました。長期に渡る滞在制作と綿密な共同作業によって生み出された有機的な作品群は、各方面から高く評価されています。

これまでに、芥川龍之介の小説を「ラージュ」した「Kappa / 或小説」(2011年)、太宰治の短編小説を「ラージュ」した「トカトン」と(2012年)、「駆込ミ訴へ」(2013年)、ロシアの文豪・ドストエフスキーの同名長編小説を舞台化した「悪霊」(2014年)、満を持して取り組んだチエーホフの「三人姉妹」(2015

年)、本邦初上演となったイエリネクの「スポーツ劇」(2016年)など、数々の舞台を地点との共同制作作品として生み出してきました。今年度は処女戯曲「みちゆき」でAAF戯曲賞(愛知県芸術劇場主催)を受賞し、彗星のごとくあらわれた俊英、松原俊太郎の最新作にして大作、「忘れる日本人」に挑みます!

椅子のない部屋、出口の封鎖された公園、坂の真ん中の我が家。外へ逃れることが決してできない三つの場所、三つの時間は、それぞれ、国会、沖縄、仮設住宅のアナロジーでもある……。

宮本常一「忘れられた日本人」、モリー・スプランシヨ「期待 忘却をモチーフに、

## TAK in KAAT 神奈川県演劇連盟プロデュース

KAAT神奈川芸術劇場



2016年作品「ジレンマが囁く」

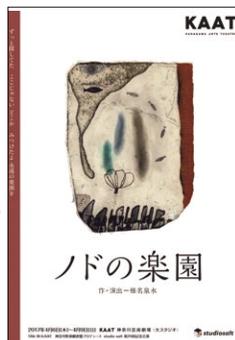


「螺旋と蜘蛛」  
2017年4月13日(木)～16日(日)  
〈大スタジオ〉  
作:緑 慎一郎(演劇プロデュース「螺旋階段」)  
演出:笹浦暢大(もじゃもじゃ頭/うなぎ計画)  
出演:田中惇之(廣島神楽団)  
中西浩 藤本貴行 他  
全席自由 一般3500円  
U24 2500円 高校生以下2000円  
(当日各200円増)  
神奈川県演劇連盟 080-5659-2757

芥川龍之介「蜘蛛の糸」に着想を得た、地獄に落とされた男の物語。空から垂れる細い糸は救済なのか、愚弄なのか。この世とは極楽のようで地獄なのだ。

### 「螺旋と蜘蛛」

「ノドの楽園」  
2017年4月6日(木)～9日(日)  
〈大スタジオ〉  
作・演出:椎名泉水  
出演:浅生礼史 東享司  
山ノ井史 野比隆彦  
(以上studio salt)  
藤田るみ(劇団川崎演劇塾)  
松岡洋子(燐光群) 他  
全席自由 一般3500円  
22歳以下2000円  
高校生以下1500円  
ほか割引有り  
studio salt (スタジオソルト)  
070-6977-1148



studio salt 第20回記念公演  
「ノドの楽園」  
ずっと探してた ここじゃない どこか  
みつけたよ 永遠の楽園を

2017年5月5日(金・祝) ~ 23日(火) <大スタジオ>  
\*5日(金・祝)・6日(土)はプレビュー公演  
原作: フランク・ヴェデキント 翻訳: 酒寄進一  
構成・演出: 白井晃  
出演: 志尊淳 大野いと 栗原類  
小川ゲン 中別府葵 北浦愛 安藤輪子 古木将也 吉田健悟 長友郁真 山根大弥  
あめくみちこ 河内大和 那須佐代子 大鷹明良  
全席指定 一般 6500円 U24 3250円 高校生以下1000円 シルバー(65歳以上)6000円  
※プレビュー公演(5月5日・6日)5000円(各種劇料金なし)



KAAT神奈川芸術劇場プロデュース  
「春のめざめ」

KAAT神奈川芸術劇場

主人公のメルヒ  
オール役には、14  
年「烈車戦隊トッ  
キュウジャー」で  
注目を集め、今  
年4月公開の映画  
「帝一の國」にも出  
演する注目の若手  
俳優、志尊淳を迎  
えました。志尊は  
今作でストレート

のメルヒオール、  
友人で劣等生の  
モーリッツ、同  
級生のヴェント  
ラです。  
主人公のメルヒ  
オール役には、14  
年「烈車戦隊トッ  
キュウジャー」で  
注目を集め、今  
年4月公開の映画  
「帝一の國」にも出  
演する注目の若手  
俳優、志尊淳を迎  
えました。志尊は  
今作でストレート

「春のめざめ」は思春期の少年たちの性  
への目覚めと、それに対する大人たちの  
抑圧、その結果として起こる少年たちの  
悲劇を描いた物語。その中心となるの  
はドイツの中等教育機関で学ぶ優等生  
のメルヒオール、  
友人で劣等生の  
モーリッツ、同  
級生のヴェント  
ラです。

KAAT神奈川芸術劇場芸術監督とし  
て、近代戯曲を現代に蘇らせるシリーズ  
に取り組んでいる白井晃が「ペール・ギュ  
ント」「夢の劇ドリーム・プレイ」「マ  
ハゴニー市の興亡」に次ぐ第4弾として  
手掛けるのは、かねてから上演を熱望し  
ていたドイツの劇作家、フランク・ヴェデ  
キント作の名作戯曲「春のめざめ」です。



志尊淳



上:大野いと



下:栗原類

プレイ初主演を果たします。ヒロイン・  
ヴェントラ役には、NHK連続テレビ小  
説「あまちゃん」で注目された成長株の女  
優、大野いとが決定。さらにメルヒオー  
ルの友人・モーリッツ役には栗原類が抜  
擢されました。  
また、若者達を抑圧する両親や先生役  
に、あめくみちこ、那須佐代子、河内大  
和、大鷹明良といった舞台作品に欠かせ  
ないベテラン勢が揃います。

約200席という極めて濃密なスタジ  
オ空間で展開する豪華俳優陣と白井芸術  
監督のタッグに、ぜひご期待ください!

応募作品搬入日  
2017年5月13日(土)・14日(日) 10:00~16:00 <ギャラリー>  
募集部門: 平面立体・工芸・書・写真

1 期展 平面立体  
2017年6月14日(水) ~ 21日(水)  
2 期展 工芸・書・写真  
2017年6月24日(土) ~ 7月1日(土)  
www.kanakengallery.com



<全国公募>  
第53回 神奈川県美術展 作品募集

神奈川県民ホール

THE 53RD KANAGAWA ART EXHIBITION 2017  
第53回  
神奈川県美術展  
全国公募  
今年の搬入は  
5月です!!

必事作品搬入 5月13日(土)・14日(日) 10:00~16:00  
5月13日(土)・14日(日) 10:00~16:00  
期展: 平面立体展(5月14日) / 工芸・書・写真展(5月14日)  
1 期展: 平面立体展(6月14日) / 工芸・書・写真展(6月14日)  
2 期展: 工芸・書・写真展(6月24日) / 平面立体展(6月24日)

TEL: 045-652-5921(代) 045-652-5922

神奈川県美術展は、昭和40年から毎年開催  
されている県下最大規模の歴史ある公募美  
術展です。昨年より、年齢・所属・国籍など  
を問わず全国から作品募集を行い、多くの  
力作が集う活気ある全国公募展となりました。  
募集は4部門(平面立体/工芸/書/  
写真)、大賞200万円(平面立体部門)の他  
にも多数の賞を設けています。今年は何年  
より2か月早く、5月に応募作品の受付を  
行います。応募要項は、HPよりダウンロード  
できます。皆様の熱意あふれる作品をお  
待ちしています!



2016年の展覧会の様子

知れば、  
知るほど、  
好きになる

## 演劇の小箱

# せ 迫りと廻り舞台

「舞台機構」は、緞帳や反響板、吊物などのバトン、迫りや廻り舞台、それらを操作する綱元や操作盤などを指す総称です。まさに舞台を舞台として成り立たせる基本機能。中でも「迫り」は、映画などの映像処理とは違い、生の舞台ならではのリアルな大仕掛けで迫力満点です。

その歴史は古く、古代ローマのコロッセオには剣闘士や猛獣を地下から登場させるリフト＝迫りがあったとされます。その後、帝国内でキリスト教が力を持つようになると娯楽は人を墮落させるとし

て、劇場は禁止されます。5世紀から約1000年間、ヨーロッパに劇場は存在しなかった、といわれています。

1753年、ヨーロッパから遠く離れた東洋の島国日本でも独自の迫りが生まれます。狂言作者\*・並木



歌舞伎「大日本六十余州 周防」より 所蔵:立命館ARC arcUP2141

正三が大道具を昇降する「大迫り」と役者を昇降させる「小迫り」を考案したのです。

そして1758年、正三の考案による世界に先駆けた「廻り舞台」が大坂道頓堀の角座に登場します。これにより素早い舞台転換が可能となり、さらに廻り舞台に迫りを組み合わせることで、より複雑な舞台演出を実現しました。明治以降、世界中の劇場で普及していきます。

\*狂言作者：歌舞伎の脚本作家。歌舞伎の初期には役者が作者も兼ねていたが、次第に芝居が複雑化し専門の作家が生まれた。

## 楽器ミュージアム

# ピアノ

今日、最もポピュラーな楽器といえはピアノ。その誕生は1700年頃にまで遡ります。

イタリアのメディチ家に仕えた楽器製作者バルトロメオ・クリストフォリは、鍵盤楽器のチェンバロをもとに、鍵盤を押すと楽器内部のハンマーが弦を叩いて音を出す「グラヴィチェンバロ・コル・ピアノ（弱い音）・エ・フォルテ（強い音）」を考案します。鍵盤へのタッチの強さで音の強弱が付けられる、チェンバロにはないその画期的な発音機構は、ヨーロッパ各地に広まりました。

後年、ピアノ製作者たちはモーツァルト、ベートーヴェン、ショパン、リストなど名だたる音楽家に自作を

贈り、多くの貴重なアドバイスを心得てピアノの能力を上げていきました。

クリストフォリの楽器では54ほどだった鍵盤の数は、19世紀後半にはオーケストラの音域をカバーする88にまで増えていきます。

また、近代市民社会を背景に演奏の場が貴族のサロンから市民が集う大ホールになると、より大きな響きが出るように、弦は真鍮から鋼鉄に、弦を張るフレームは木製から鋼鉄に変わり、現代のコンサート・グランドピアノの総重量は500キロにも及ぶようになりました。

こうした超重量級の楽器への進化と同時に、ピアノは逆の方向にも進みました。産業革命のもと、豊かな



生活を得た市民たちは、その象徴としてピアノを自宅に置くようになり、19世紀のアメリカでは、客間向きのコンパクトなアップライト（縦型）ピアノが製造されるようになるのです。日本でも高度成長時代、多くの家庭がアップライトピアノを買い求めました。近年、中国でピアノが急増したとのこと。楽器は社会を映す鏡でもあるようです。



イラスト：遠藤裕喜奈

## ジェームズ・ジョイス 「ユリシーズ」

1904年6月10日、ダブリンの街を散歩していたジェームズ・ジョイスは、腕を大きく振り闊歩する赤毛の長身の女性と出会います。生涯の伴侶となるノラ・バーナクル嬢です。親代わりの叔父夫婦のもとから家出し、ダブリンのホテルでメイドとして働くまだ20歳\*の女性でした。

そして、出会いからわずか4か月後の10月8日、無謀ともいえるヨーロッパ大陸への駆け落ちを決行するのです。

一人の女性が一つの作品に影響を与えることはしばしばありますが、作家のすべての作品にその影を落とすことはまずありません。しかし、ジョイスの全作品にはノラをモデルにした女性が必ず登場します。『ダブリン市民』の「イーヴリン」では若い水夫とアイルランドを脱出しようとし諦める女（実際のノラはジョイスと駆け落ちしていますが）、『若き芸術家の肖像』の「魔法で美しい海鳥の姿に変えられたかのような娘」（ノラの姓バーナクルは海鳥のカオジロ黒雁の意味）。戯曲\*『亡命者たち』の男殺しのバーサ（ボーイフレンドが二人とも肺炎で死んでいることからつけられたノラの少女時代の<sup>あだな</sup>渾名）。ノラはまさに

ジョイスの創作の源=ミューズそのものです。

そして、ジョイスの最高傑作であり20世紀モダニズム文学の最高峰といわれる『ユリシーズ』に登場する歌手マリオン。自身のマネージャーと密通する人妻です。ジョイスは、ノラが自分の友人とかつて関係していたという妄想から、一生逃れることが出来ませんでした。ノラは語っています。「ジムは私が他の男と歩くのを見たがる。小説を書くためにね」。そして、彼女は挑発するかのようにジョイスに手紙で「親愛なる寝取られ男様」と語りかけます。見事な共犯関係です。

『ユリシーズ』は1904年6月16日のダブリンの一日を描いた作品ですが、まさにこの日はジョイスとノラが初めてデートした、その日なのです。

ジェームズ・ジョイス James Joyce (1882～1941)  
アイルランドのダブリン生まれ。20世紀で最も重要な作家の一人といわれる。カソリック信仰とそれに根ざした因習を嫌い人生の大半を海外で過ごす。作品の舞台のほとんどは祖国アイルランドである。ノラとは27年にわたり未婚だったが、子どもたちの相続権を守るため1931年に正式に結婚する。

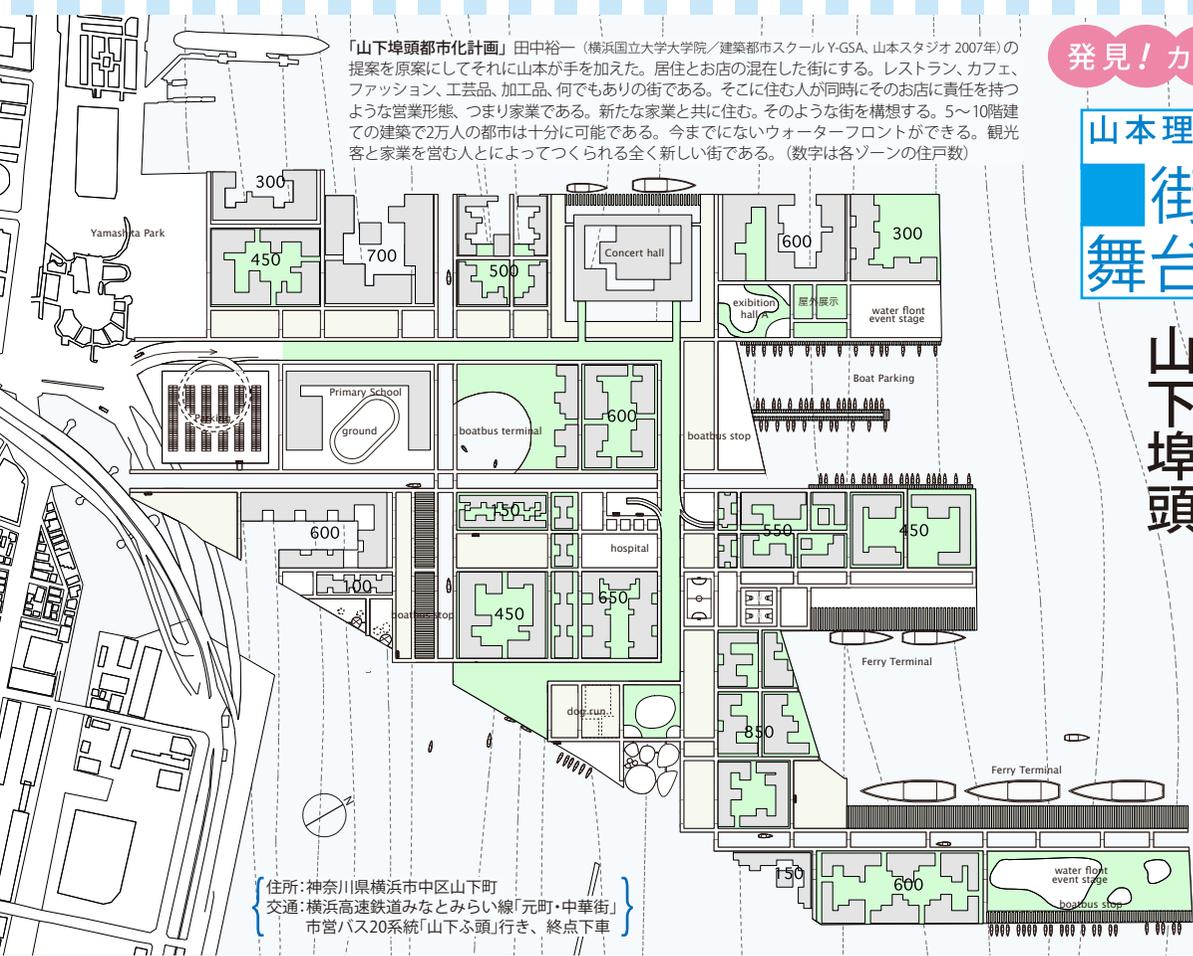
\*当時のアイルランドの法律では21歳からが成人。 \*戯曲：演劇の脚本・台本。あるいは、その様な形式で書かれた文学作品

山本理頭の  
街は  
舞台だ

未来の横浜の中心地にカジノとは  
山下埠頭

5~10階建て  
住居兼お店 8,000戸  
人口 20,000人

「山下埠頭都市化計画」田中裕一（横浜国立大学大学院／建築都市スクールY-GSA、山本スタジオ2007年）の提案を原案にしてそれに山本が手を加えた。居住とお店の混在した街にする。レストラン、カフェ、ファッション、工芸品、加工品、何でもありの街である。そこに住む人が同時にそのお店に責任を持つような営業形態、つまり家業である。新たな家業と共に住む。そのような街を構想する。5~10階建ての建築で2万人の都市は十分に可能である。今までにないウォーターフロントができる。観光客と家業を営む人によってつくられる全く新しい街である。（数字は各ゾーンの住戸数）



住所：神奈川県横浜市中区山下町  
交通：横浜高速鉄道みなとみらい線「元町・中華街」  
市営バス20系統「山下ふ頭」行き、終点下車

日本各地でカジノを含む統合型リゾート施設（IR）を核とした開発計画が構想されている。

そんな中、横浜市が2015年9月に「横浜山下埠頭開発基本計画」を発表した。山下埠頭の47haある敷地に、巨大ショッピング・エリア、コンベンション施設、球場、カジノ・ホテル\*などを誘致するという計画だ。またしても観光客を呼び込むことのみを考えた、未来の横浜の住民を一切想定していない街づくりである。

本来の観光地は、そこに住む人たちによってつくられるのである。住人たちによる固有の暮らし方が魅力ある都市景観をつくりだすのである。京都然り、ヴェネチア然りである。目先の利益のみを目的とするテーマパーク的な施設は、次の

企画・監修：山本理頭（建築家）



©Jake Walters

1945年生まれ。71年、東京藝術大学大学院美術研究科建築専攻修了。東京大学生産技術研究所原研究室生。73年、株式会社山本理頭設計工場を設立。2007年、横浜国立大学大学院教授に就任（11年）。11年、横浜国立大学大学院客員教授に就任（13年）。

\*カジノ・ホテル：市はイメージとしてシンガポールのマリーナベイサンズ（シンガポールにある高層ビルを三つ屋上でつなげたリゾートホテル。500のテーブルと1600のスロットマシンがある単独では世界最大のカジノを有する）をあげている。

新しい施設ができたから見向きもされなくなるだろう。

地域社会の固有で独自の生活と文化を世界に向かって問いかける、それがいま求められている都市計画である。山下埠頭は47haある。高層ビルなんか建てなくても、人口2万人程度が暮らす街をつくることのできる。そこに住む人々が、ただ家の中に住むだけでなく、そこにしかない独自の住み方を考案して、お店やカフェや道や運河と一緒に世界に例のないウォーターフロントの街並みをつくる。その街に住んでいると胸をはっていえる街をつくることのできるのだ。

都市計画とは、未来をつくり、新たな歴史をつくることである。横浜らしく、そしていままでになかった街を生み出す。山下埠頭は未来の横浜の中心地なのである。



山下埠頭は、まさに横浜ウォーターフロントの中心。  
写真提供：グーグル

かながわ  
芸 ● 能  
歳時記

相模最大の祭りを彩る平安貴族宴の舞  
相模国府祭の「鷺の舞」  
(大矢場 / 5月)



慈悲の象徴である鷺が舞う

WEB  
+a!

相模国府祭は、毎年5月5日に大磯町国府地区で行われます。今から一千年以上前、相模国の国司が、天下泰平と五穀豊穡を祈願したのが始まりとされ、相模国の一之宮から総社である六所神社までの神輿が一堂に集う相模国最大の祭典です。

県の無形民俗文化財に指定されています。神輿が一堂に集う相模国最大の祭典です。神輿が一堂に集う相模国最大の祭典です。県の無形民俗文化財に指定されています。

神輿が一堂に集う相模国最大の祭典です。県の無形民俗文化財に指定されています。神輿が一堂に集う相模国最大の祭典です。

大矢場(別名・小字高天原)現在の馬場公園)では、古式ゆかしき鷺の舞が奉納されます。平安朝の貴族達は宴の時、庭の池に船を浮かべ舞を舞わせ客をもてなしました。その流れを汲む舞で、国司

によって伝えられたとされます。船の形をした舞台上で奉納される舞は日本全国で大磯町、中井町の二か所のみです。3種の舞によって構成され、鷺の舞は天下泰平を、龍の舞は五穀豊穡を、獅子の舞は災厄消除を祈願すると伝えられています。

監修・神奈川県民俗芸能保存協会会長 石井一躬  
協力・六所神社  
写真提供・大磯町産業観光課

住所: 神奈川県大磯町国府本郷935  
交通: JR大磯駅より神奈中バス・平43国府津駅行き、または平47二宮駅行きで「国府新宿」下車 徒歩5分  
日時: 5月5日 9:30 ~ 17:00  
お問合せ: 六所神社 0463-71-3737

◎相模国の六社: 一之宮・寒川神社(寒川町)

二之宮(にのみや)・川勾神社(宮町)

三之宮(さんのみや)・比々多神社(伊勢原市)

四之宮(しのみや)・前鳥神社(平塚市)

一國一社(いつくくし)・平塚八幡宮(平塚市)

総社六所神社(大磯町)

\*一之宮: 地域の中でもっとも社格の高いといわれる神社のこと。

\*総社: 地域内の祭祀を一つか所に集めて祀った神社のこと。多くは律令国内で集めたものを指す。

more! カナガワ

神奈川フィルハーモニー管弦楽団

定期演奏会 みなとみらいシリーズ 第328回

2017年4月8日(土) 14:00 横浜みなとみらいホール

指揮: 川瀬賢太郎

エサ=ベッカ・サロネン・フォーリン・ボディーズ

マーラー: 交響曲第1番「巨人」

全席指定 S 6000円 A 4500円 B 3000円 ほか割引あり

TEL.045-226-5107 www.kanaphil.or.jp

神奈川県立近代美術館 葉山

木魂を彫る一砂澤ビッキ展

2017年4月8日(土)~6月18日(日) 9:30-17:00 (5/1以外の月曜休館)

同時開催: コレクション展 躍動する個性一大正の新しさ

戦後彫刻の巨匠・砂澤ビッキ(1931-89)による、本州の公立美術館で初となる個展を開催します。本展では円熟期に入った1970年代の「木面シリーズ」をはじめ、《神の舌》(TOH)などの彫刻約20点、さらに平面作品やデッサンなど40点余りを展示し、自然との交感を表現した砂澤ビッキの世界を探ります。\*5/18は無料開館日  
TEL.046-875-2800 www.moma.pref.kanagawa.jp

神奈川県文化課

平成29年度神奈川県文化芸術活動団体事業補助金の募集

神奈川県では、県内の団体が行う文化芸術活動の活性化と、県内の文化芸術の振興を図るため、県民の皆さんを対象に行う公演等に対して、補助金を交付します。

申請の詳細は神奈川県ホームページをご覧ください。

TEL.045-210-3808 www.pref.kanagawa.jp/cnt/f3486/

提出締切: 4月7日(金) (消印有効)

神奈川近代文学館

特別展「生誕150年 正岡子規展 一病牀六尺の宇宙」

2017年3月25日(土)~5月21日(日) (5/1以外の月曜開館) 9:30-17:00

わずか35年に満たない生涯のなかで、俳句、短歌の革新運動を推し進め、写生文を提唱するなど、多岐にわたるジャンルで新時代の表現を追究した正岡子規(1867~1902)。本展はその文学と生涯を振り返るとともに、親友・夏目漱石をはじめ、子規を慕った文学者との交流や、病に苦しみながらも最期まで生きることを楽しもうとした(人間・子規)の姿を紹介いたします。

TEL.045-622-6666 www.kanabun.or.jp/exhibition/5643/

## My Roots My Favorites

クレメンス・ハーゲン (チェリスト)



©武藤 章

音楽を共有し、互いに刺激しあって  
ファンタスティックな音の感覚、  
インスピレーションを培いました。

WEB  
+a!

私の、そして私たちのクアルテットの原点は、最初の出発点から「人と音楽を共有してきた」ことです。私は5歳でチェロを始めました。5歳の子にとって、毎日の練習は無味乾燥なものです。人と演奏すると、それが互いに刺激し合う楽しいものになり、ファンタスティックな音の感覚、音楽的インスピレーションを培えるものになりました。8、9歳の頃に、私たち兄弟は、自分の楽器の練習以外に毎日1時間は室内楽にあてていました。他の楽器の音を聴いて、何がおこっているかを感じとり、自分の音を重ねて上質なものを創る。その体験を、はじめの一步から積み重ねてきたのです。20歳の時点で、室内楽は私にとって、既に15年もやってきた、ごく当たり前のものになっていました。

幸運にも15歳で最初にロッケンハウス音楽祭に出た時が、人生を変えた大きな瞬間です。周りを見回すとクレメール、ツィマーマン、アンドラーシュ・シフ……すごい芸術家たちがいて。この偉大な人たちが私たちと一緒に演奏したいと思い、楽しんでくれていると気

づいた瞬間は、とても信じられませんでした。もう大興奮。ティーンエイジャーですからね。あれはすごい自信になりました。でも不思議と内面は……何と言ったらいいか、リラックスしていたんです。自分の胸の中にある何かは変わらない、と感じました。「自分はこの、音楽の世界の一部なんだ」と思いました。「これでいい。大丈夫。これは自然なことなんだ」と。エキサイトとリラックスが共存しているような感覚でしたね。

音楽の仕事が続けてきて、リラックスは常に心がけていることです。そしてリラックスするためには、信頼できる音楽家と一緒に演奏する、ということが、やはり最も重要です。ソロと室内楽は全く別物で、どちらだけでももう片方が恋しくなるでしょう。両方ある、ということが私には大事なのです。(談)

クレメンス・ハーゲン Clemens Hagen

チェロ奏者。ザルツブルク出身。ハーゲン・クアルテットのメンバー。ソリストとして、ウィーン・フィル、ベルリン・フィルと度々共演を果たし、1989年よりモーツァルテウム音楽院にて教鞭をとる。2017年7月音楽堂「ハーゲン・クアルテット」に出演(詳細はP9参照)。

# REVIEW

## ルーツ

2016年12月17日(土)～26日(月) KAAT神奈川芸術劇場〈大スタジオ〉

脚本:松井周(サンプル) 演出・美術:杉原邦生(KUNIO)  
出演:石田圭祐(文学座) 猪股俊明 内田淳子 金子岳憲  
北川麗(中野茂樹+フランケンズ) 洪雄大(中野茂樹+フランケンズ)  
中山求一郎 成田亜佑美 南波圭(なんばしすたーず) 新名基浩  
能島瑞穂(青年団) 長谷川洋子 日高啓介(FUKAIPRODUCE羽衣)  
山崎皓司(FAIFAI) / 銀粉蝶



Photo: 清水俊洋

今著しい活躍を続ける演出家・杉原邦生(KUNIO)と、松井周(サンプル)の初タッグで挑んだ新作公演『ルーツ』。

杉原はまるでアリの巣の断面図のような舞台美術で、「鳴瀬」という過疎の集落到に住む人々の生活空間を表現しました。そこで繰り上げられる物語を観ているうちに、観客もまるで集落の一員であるかのように彼らの絶望と希望を共有できたのではないのでしょうか。上演時間は3時間弱ほどでしたが、物語が進めば進むほど「鳴瀬」の世界にのめりこみ、終演まであっという間に感じられたという声が多く寄せられました。

若手からベテランまで様々な個性を放つ俳優陣が織り成す群像劇は、「共同体」の在り方を浮き彫りにするとともに、私たちが今生きる「社会」について考えさせる作品となりました。

### お客様の声

人々が内に秘めた社会に対する疑問を可視化して、より多くの人と共有できるきっかけとなるのが、演劇のすばらしいところですね。今日観に来ることができて本当によかったです。(30代女性)

あくまで一つの解釈ですが、この劇が日本の現状あるいは体制、伝統のような何かを描いていたからこそ、観ていて嫌な気持ちになることも、主人公の人に共感することもできました。非常に良い、今の日本に必要な作品だと思いました。(20代女性)

とてもおもしろかったです。芝居、演出がとても良く、リズムカルでのめりこむように見られました。(50代男性)

### 公益財団法人神奈川芸術文化財団をご支援いただいている方々

公益財団法人神奈川芸術文化財団では、賛助会員制度を始めとしたさまざまなご支援の仕組みを通じて、広く皆さまからご寄附・お力添えをいただいております。

#### 公益財団法人神奈川芸術文化財団 賛助会員

**法人賛助会員** 株式会社アクトエンジニアリング / 株式会社浅岡装飾 / アサヒビール株式会社 / アズビル株式会社 / 学校法人岩崎学園 / 株式会社ヴォートル / 株式会社エス・シー・アライアンス株式会社/NHKアート/株式会社勝烈庵/一般財団法人神奈川県教育福祉振興会/公益財団法人神奈川県核予防会/神奈川県信用保証協会/株式会社神奈川孔文社/株式会社神奈川保健事業社神谷コーポレーション株式会社 / カヤバシステムマシナリー株式会社 / 川崎北口ターリークラブ / 川本工業株式会社 / かりを商事株式会社 / 株式会社共栄社 / 株式会社ケイエスピー株式会社/KSP/株式会社合同通信/コトブキシーティング株式会社/株式会社サンナイオートメーション/株式会社シグマコミュニケーションズ/株式会社ジェイコムイースト横浜テレビ局株式会社清光社/株式会社ソニー・ミュージックコミュニケーションズ/月島機械株式会社/株式会社テレビ神奈川/東工株式会社/ナイス株式会社/株式会社日建設計/日産自動車株式会社日生工株式会社/日総ブレイン株式会社/株式会社野毛印刷社/パナソニックESエンジニアリング株式会社/平安堂薬局/株式会社ホテル、ニューグランド/一般社団法人本牧関連産業振興協会丸茂電機株式会社 / 三沢電機株式会社 / 森平舞台機構株式会社 / ヤマハサウンドシステム株式会社 / 株式会社有隣堂 / 株式会社豊商會 / 株式会社ユニコーン / 株式会社横浜アーチスト横浜新都市センター株式会社 / 横浜信用金庫 / 弁護士法人横浜パートナー法律事務所 / 横浜ビルシステム株式会社 / 株式会社ワイイーシーソリューションズ (匿名:3社)

**永年個人賛助会員** 江田真子 / 川村恒明 **個人賛助会員** 畔上 譲 / 岩間良孝 / 岡田博子 / 長田大徳 / 黒瀬博晴 / 小山明枝 / 高岡俊之 / 橋本尚子 / 藤原靖也 (匿名:1名)

#### 協賛・協力

**能舞台協賛** ナイス株式会社

**協力** 神奈川総合設備株式会社 / 神奈川ヨト自動車株式会社 / 崎陽軒 / 株式会社東芝 / 株式会社野毛印刷社 / 株式会社富士住建 / 三菱地所株式会社

(敬称略 2017年1月31日現在)

ご寄附・ご協賛・ご協力のお申込み・お問合せ: 本部経営企画課 045-633-3760 [www.kanagawa-arts.or.jp/support/](http://www.kanagawa-arts.or.jp/support/)

